

Rotary



2022-2023 年度 国際ロータリー第 2670 地区
高松グリーンロータリークラブ

発行日
2022 年 9 月 8 日

2022-2023 年度
国際ロータリーのテーマ

NO.
1348



イマジン
ロータリー

WEEKLY REPORT

- 例会場:ホテルマリンパレスさぬき
- 例会日:毎週木曜日 PM6:30 より
- 事務所:高松ホテル旅館料理協同組合
高松市西の丸町 10-15 TEL851-2661
- URL:<http://tgrc.jp>
- 会長:平田 真由美 幹事:太田 貴道

- 今週プログラム ● 9月8日(1348回)
八田ガバナー公式訪問 理事会
- 次週プログラム ● 9月15日(1349回)
委員会事業
移動例会 親睦ボ-リング大会 親睦活動委員会
- 先週プログラム ● 9月1日(1347回)
客話 ㊦早蕨 代表 原田さとみ様
ロータリー情報委員会

第 1348 回 例会報告 9 月 8 日

我がクラブの強みを考え、何ができるか想像し、そして次につなごう

□ プログラム委員会より

《 9 月度例会 スケジュール 》

- * 9/01 1347 回 客話 ㊦早蕨 代表 原田さとみ様 ロータリー情報委員会
- * 9/08 1348 回 八田ガバナー公式訪問 理事会
- * 9/15 1349 回 委員会事業 移動例会 親睦ボ-リング大会 親睦活動委員会
- * 9/22 定款第 8 条により休会
- * 9/29 1350 回 卓話 落合会員

□ 幹事報告

- ・ 回覧資料の案内

□ 休会

- ・ 9 月 8 日(木) 高松 RC
- ・ 9 月 19 日(月) 東かがわ RC
- ・ 9 月 20 日(火) 高松中央 RC
- ・ 9 月 23 日(金) 小豆島 RC
- ・ 9 月 29 日(木) 観音寺 RC
- ・ 9 月 30 日(金) さぬき RC
- ・ 10 月 14 日(金) 小豆島 RC

□ 9/1 出席報告

- 会員数 : 37 名 ● 出席基準数 : 34 名
 - 出席者数 : 30 名 ● 欠席者数 : 4 名
 - 出席率 : 88.24% ● ビジター : 1 名
- 8 月 18 日 最終出席率 90.91% → 93.94%
- 最終欠席者名 : 藤本・早川

□ 9/6 現在 メイクアップ

- ・ なし

□ ニコニコ

- ・ 誕生祝いの返礼 /花房
- ・ 誕生祝いの返礼 /高嶋(由)
- ・ ありがとうございます。/高嶋(浩)

□ ビジター

- ・ 高松北 RC 永野公隆 様

□ 例会臨時変更

- 小豆島 RC は、9 月 9 日(金) 18 時~ 月見例会
- 観音寺東 RC は、9 月 13 日(火) ⇒ 9 月 10 日(土) 19 時~ 護国神社境内(3RC 合同親月例会)
10 月 25 日(火) 18 時 30 分~ 観音寺グランドホテル
- 善通寺 RC は、9 月 14 日(水) ⇒ 9 月 10 日(土) 19 時~ 護国神社境内(3RC 合同親月例会)
- 高松グリーン RC は、9 月 15 日(木) 18 時 30 分~ 移動例会親睦ボ-リング大会 太陽ポウル
- 高松西 RC は、9 月 16 日(金)の例会は 日時: 9 月 16 日 12 時 30 分~
場所: (株) 瀬戸内海放送(KSB) 新社屋 職場訪問例会
- 坂出東 RC は、9 月 21 日(水) → 9 月 20 日(火) 坂出 RC との合同例会 坂出グランドホテル 12 時 30 分~
- 観音寺 RC は、10 月 27 日(木) 18 時 30 分~ 「琴弾回廊」

今日はロータリー情報委員会の担当事業です。塩田委員長の依頼で、早蕨の原田様の講演となります。急遽、本日例会後に入会5年未満の会員対象に研修委員会を開催します。

コロナ禍でなかなか実現できなかった研修を今後定期的につけていきたいと思っております。友翠会は予定通り松野委員長が設営しておりますので、希望の方参加宜しくお願い致します。研修会出席のメンバーも行ける方は後から駆けつけます。

来週は、ガバナー公式訪問です。

グリーンジャケット（グリーンネクタイ・チーフ）着用お願いいたします。

この後、国際ロータリー RI 会長 ジャニーファー・ジョーンズさんのビデオを流します。

メッセージをご覧ください。

このイメージをもって来週ガバナー公式訪問をむかえていただけますようお願いいたします。

高松ホテル旅館料理協同組合三矢前理事長からの依頼で、

ロータリー事務局員を中條さんに切り替えるよう話がありました。

今日から中條さんが来てくれています。詳細は次の理事会でまとめてから改めて報告いたします。

(※9月1日 会長あいさつより抜粋)

◀ コラム ▶

日本には昔から「十五夜」という行事があります。旧暦の8月15日に行われる行事で、「中秋の名月」とも呼ばれています。では、なぜ旧暦の8月15日に十五夜という行事が行われるようになったのでしょうか。

その由来は中国の「中秋節」という節句からきていると言われております。お月見をしながら「月餅」と呼ばれるお菓子を食べることで知られていますが、この文化が平安時代に日本にも伝わり、貴族の間で8月15日に月を見ながらお酒を飲んだり、歌や管弦を楽しんだりしていたそうです。江戸時代には作物が無事に収穫できたことを感謝する行事として、十五夜の行事が広く庶民の間でも行われるようになったようです。

太陽を基準にしている新暦では9月中旬から10月上旬あたりが十五夜になり、毎年同じ日にはならないそうです。ちなみに、今年の十五夜は9月21日なので、覚えておきましょう。

十五夜の象徴的なお供え物が「月見団子」です。月見団子をお供えする習慣は、江戸時代から始まったそうです。お米の収穫時期になるので、お米の粉で満月の形に作ったお団子を供えて感謝を表します。お月見団子は真ん丸にならないように、ほんの少つぶして作るそうです。数は、十五夜に合わせて15個お供えします。「三方(さんぼう)」という器にピラミッド型に積みます。

今年の十五夜は、月見団子や季節のお野菜を使ったご飯を食べながら、きれいなお月様をみんなで鑑賞してみましょう。



9 月誕生例会



早蕨 原田様講演